

# こんなところに

## 市民窓口

1. 富士山のように高く  
教養を深め  
視野のひろい市民となります

### 富士短大で公開講座



本年4月開学した常葉学園富士短期大学で、10月18日から一般市民を対象とした公開講座が始まりました。

「よりよき明日をめざして」というテーマで、女性史や情報化社会、国際化などについて、11月15日までの毎週木曜日18時30分から行われています。

第1回目の10月18日は、常葉学園副理事長木宮栄彦氏による「宮廷女人その愛の生涯」という講座でした。

会場は、自発的に学習してみようという市民120人で満員。皆さん熱心に聞き入っていました。

△会場はアカデミックな  
雰囲気

久保田さんのお宅は、静岡銀行にお勤めの秀策さん（三十九歳）、奥さんの行美さん（三十四歳）、長男で富士南小二年の真浩君、次男の祐輔君（五歳）、長女の真実ちゃん（三歳）の五人家族です。御夫婦はもともと静岡県民ですが、豊中市に六年半住んでいました。

——豊中市はどんな街

「大阪のベッドタウンで、高級住宅街もあり、近くに、芸能界やスポーツ界の有名人が結構います。人口は四十万人ぐらいでしょうか。電車を使つても、車を使つ

——これからよく見えますので

△御期待を、行政の違いは？

「学校の登校時間の早さと自転車に乗るのに許可がいるのにびっくりしました。大阪では、八時過ぎに登校し、交通事情は富士より悪いのに規制はありませんでした」

——御要望はありますか

「公園が少ないような気がします。それと、富士山を生かした観光地が一つや二つあつてもいいのではないか」と、言いました

△左から秀策さん、祐輔君、真浩君、行美さん

今回は、本年四月に大阪府豊中市から転勤でみえた久保田秀策さん（森島）のお宅におじゃました。

久保田さんのお宅は、静岡銀行にお勤めの秀策さん（三十九歳）、

「家の前が田んぼで、夏はかえるの鳴き声に驚きました。子供たちは最初、夜眠れないと言つたらいいですから、自然是多いと思います。気候もよく、とても住みやすいですが、もっと富士山が見えると思っていました。来たばかりのころは富士山が見えただけで家族中で感激していました」

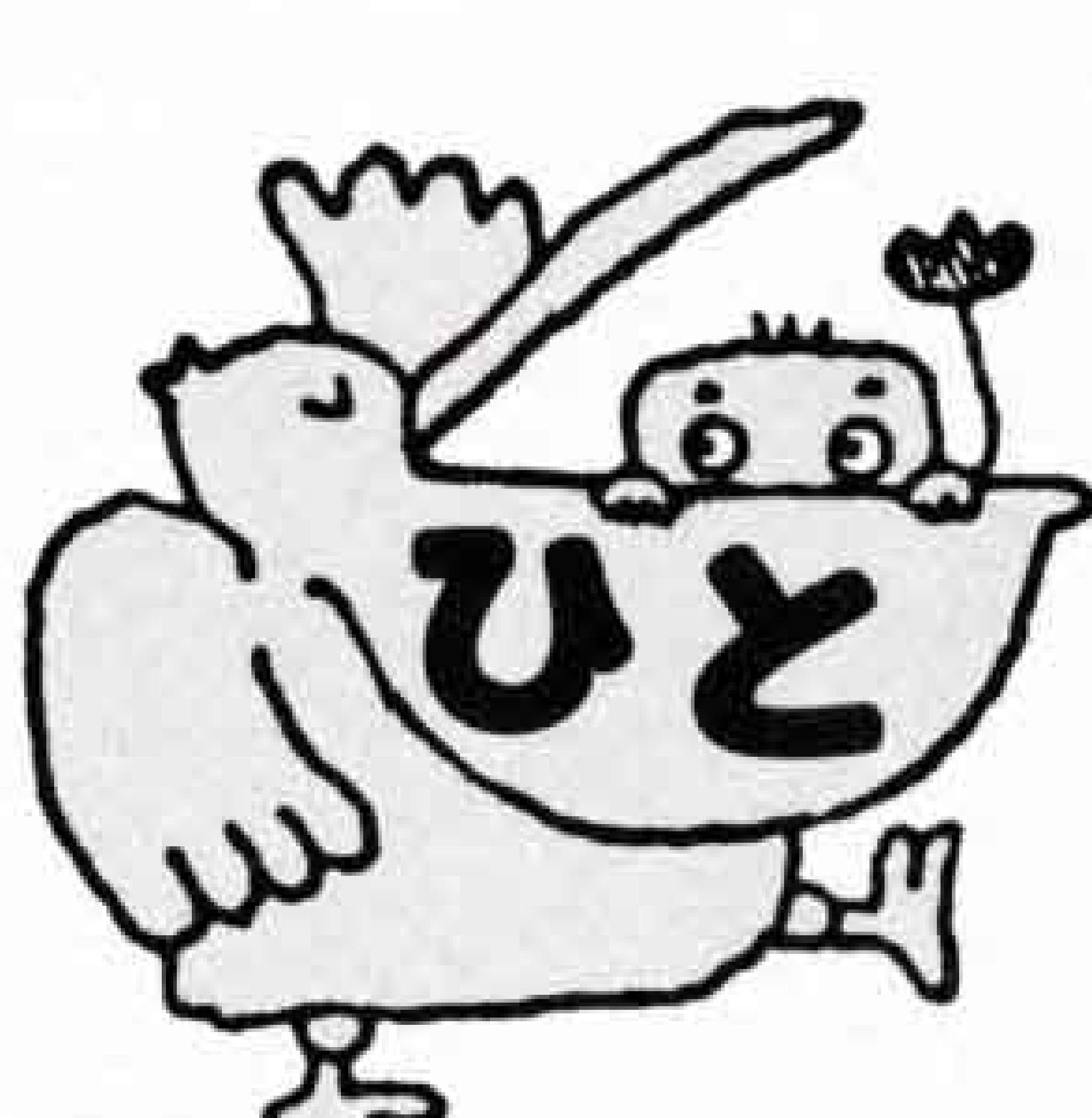
——手に花。

池田明由さん三十二歳は、今市内で一番の幸せ者。片方の手に、第十一回北京アジア大会での銅メダル。もう片方には、九月二十三日に生まれたばかりの、長男幸広ちゃん。

目標に向かって全力を傾ける  
第11回北京アジア大会の  
ハンマー投げ銅メダリスト

いけだあきよし  
**池田明由さん**

(富士見台・32歳)



次  
の目標は、七十kg。  
池田さんは、ハンマー投げで

家庭生活のリズム。  
ハンマー投げは、左足を軸にこまのないように回りますから、リズムがとても大切。家庭生活のリズムも同様です。妻の静子さんも、全面的に協力。ビデオを撮つたり、脂肪のつかないおかずを考えたり。話しながら、また一段と目が細くなりました。

本年度日本最高記録保持者。北京での記録は、六十六・五一kg。「体調は、あまりよくなかつた」と、言います。

次の目標は、七十kg。「ただ力まかせに投げるではなく、これからは、『わざ』を高めていきたい。前かがみになるくせがあるので、フォームを改造しました。フォームが完成すれば、もつと加速し、確実に軸にのれるターンができるから、記録も伸びると思います。世界選手権にも、一九九四年広島で開かれる第十二回アジア大会にも出場したい」と、抱負を語ってくれました。

